

# 第3学年国語科学習指導案

福山市立城北中学校 授業者：池田 知美

- 1 日時 2013年（平成25年）10月30日（水） 5校時  
 2 学年・組 3年 3組（36名）  
 3 単元名 いにしえの心と語らう（教材名「君待つと一万葉・古今・新古今」）

## 【1】 つまずきの把握

【出題の趣旨】  
 文章の内容について根拠を明確にして自分の考えを書く。

【学習指導要領の内容・領域】  
 C 読むこと（第一学年）  
 文章に表れている、ものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。

平成25年度

全国学力・学習状況調査【B問題】

23

文章を読んで、あなたが感じたことや考えたことを次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

（※文章＝星新一「装置の時代」による）

- 条件1 本文を引用して書くこと。引用しり部分は、かぎかっこ（「 」）でくくること。
- 条件2 この文章について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。
- 条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

	正答率
全国	65.7%
本校	70.0%

解答類型	1	2	3	4	9	無回答
本校の割合 (%)	70.0	0.0	2.0	16.6	4.0	7.3

### 問題を解くために必要な力

- 文章に表れているものの見方や考え方を的確に読み取る力。
- 根拠を明確にして自分の考えを持ち、条件に合わせて表現する力。

### 誤答分析

- 解答類型2 本文を引用し、感じたことや考えたことを具体的に書いているが、字数の条件を満たしていない。
- 解答類型3 条件を満たし、感じたことや考えたことを書いているが、「長所や短所がある」や「すごいと思う」等具体的に書くことができていない。
- 解答類型4 感じたことや考えたことを書いているが、本文を引用していない。
- 解答類型9 本文をまとめたり、紹介することにとどまり、自分の考えや感想を書くことができていない。
- 無解答 問題の意味が理解できず、どう表現すればいいのかわからない。また、記述問題に苦手意識を持っている。

## 【2】 指導改善ポイントの明確化

### 調査結果からみる課題

#### 【課題となる力】

- ・本文に表れているものの見方や考え方を的確に読み取る力。
- ・本文から読み取ったことを根拠に、自分なりに考えたり感じたりする力。
- ・条件を満たしてまとめる力。

#### 【指導上の課題】

- ・本文に表現されているものの見方や考え方を正しく捉え、根拠を明らかにしたうえで自分の考えをまとめ、表現させる指導が不十分であった。
- ・条件に従って、文章中の言葉を使ってまとめる指導が不足している。

### 指導改善ポイント

言葉や表現の工夫に着目して情景や心情を読み取り、自分の言葉で表現する。

#### 【指導の工夫】



①言葉の選び方や表現の工夫から情景や心情をつかませる。



②「選んだ和歌のショートストーリーを創る」という言語活動を設定する。

### 言葉や表現の工夫に着目して情景や心情を読み取り、自分の言葉で表現する。



①言葉の選び方や表現の工夫から情景や心情をつかませる。

和歌は五・七・五・七・七という限られた音律の中で気持ちを十分に詠みこむものであるため、言葉の選び方に工夫があり、表現方法も技巧を凝らしたものとなっている。漠然とした想像でなく、根拠をもとに情景や心情をつかませたい。

- 用いられている言葉を根拠に情景や心情をつかませる。
- 「体言止め」や「係り結び」, 「縁語」や「掛詞」等、様々な表現技法を理解させ、それぞれの和歌の中でどのような効果を発揮しているか考えさせる。



②「選んだ和歌のショートストーリーを創る」という言語活動を設定する。

和歌の学習のまとめとして自分の好きな歌を一つ選び、考えた情景や心情をもとに、選んだ和歌のショートストーリーを創る。そして、そのようなストーリーになった理由を、良さを含めて短くまとめ書かせる。

- 授業の中で情景や心情を考えさせる時にグループ学習を仕組み、たくさんの意見が聞けるようにする。その際、大きな読み間違いを訂正する場にする。
- 最後に理由を明確にさせることで、漠然とした想像にならないようにする。
- 家庭学習で調べてきた当時の背景をふまえて考えさせる。

### 【3】 単元について

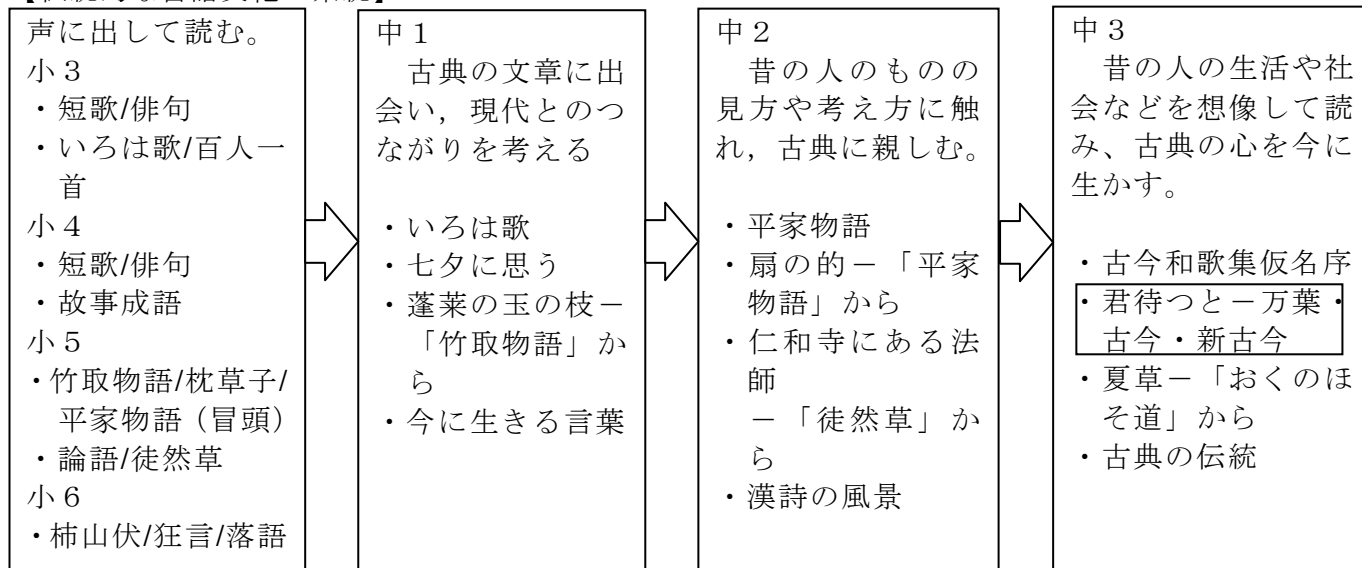
本単元は、昔の人の生活や社会などを想像して読み、古典の心を今に生かすことをねらいとしている。これは主として、学習指導要領の「C 読むこと」(第3学年)の「エ 文章を読んで人間、社会、自然について考え、自分の意見を持つこと」及び同指導要領〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「ア(イ)古典の一説を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くこと。」を指導するものである。

古典を読む場合、作品に関連する歴史的背景を知ること、その世界をより深く楽しく享受できる。歴史的背景を踏まえたうえで、表現の工夫や言葉に注意を払って、和歌や俳諧の世界を味わっていききたい。

本教材は古典の中でも和歌という、五七五七七の短い音律の中に豊かなイメージを圧縮して表現しているものであり、表現方法や一つ一つの言葉の持つ意味は大きなものがある。洗練された作者の言葉や表現を丁寧に読んでいくことで、情景や心情を読み取ることができるとともに、昔の人のものの考え方や生き方に触れることができる。古の人々の思いを感じながら、現代との共通点や相違点を考えさせることでより古典の世界に親しむこともできると考える。

### 【4】 内容の関連

#### 【伝統的な言語文化の系統】



### 【5】 単元の目標

- ① 古典について関心を持ち、進んで読む中で自分の考えを持っている。  
「国語への関心・意欲・態度」
- ② 古典の文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つことができる。  
「C 読むこと」
- ③ 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くことができる。  
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

## 【6】 単元の評価規準

ア 国語への意欲・関心・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
和歌に表現された情景や心情を考え、自分の言葉でまとめる指導 【具体的な言語活動：選んだ和歌のショートストーリーを創る。】		
① 古典について関心を持ち、様々な見方で読み味わって自分の考えを持とうとしている。	① 古典の文章を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。	① 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書いている。

## 【7】 指導と評価の計画等

(全7時間)

次	学習内容(時数)	評 価				家庭学習
		関	読	言	評価規準	
一	・学習の見通しをもつ。 ・古今集「仮名序」を読み、和歌とは何かを知る。 ・万葉・古今・新古今の特徴をまとめる。 (1)	○			ア① 古典について関心を持ち、様々な見方で読み味わって自分の考えを持とうとしている。	音読 観察 ノート  ・漢字ノート ・奈良・平安・鎌倉の人々の文化について調べる。
二	・和歌の味わい方を知る。 ・提示された和歌の( )に入る言葉を考えることで、読みを深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">                         ・言葉のイメージや、前後にある言葉との関係を考える。                     </div> ・提示された和歌の情景や心情を想像し、百字でショートストーリーを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">                         根拠を明確にして、考えたことを自分の言葉でまとめる。                     </div> 【本時】(1/1)		◎		エ① 古典の文章を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。	観察 発表 ノート  百字原稿  ・漢字ノート ・奈良・平安・鎌倉の人々の文化について調べる。

<p>三</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書にある和歌を読み、それぞれの歌に込められた心情や情景をとらえる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       表現技法や言葉の効果に着目し、情景や心情をとらえる。     </div> <p>(3)</p>		◎		<p>エ② 古典を読んで人間，社会，自然などについて考え，自分の意見を持つようとしている</p>	観察 発表 ノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>百字原稿を仕上げる。</li> <li>好きな歌を選び，その歌人について調べてくる。</li> </ul>
<p>四</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した和歌の中から好きな歌の一つを選び，情景や心情を想像して二百字でショートストーリーを創る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       歌の中のどのような表現に着目してストーリーを創ったかも書く。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>創った物語を交流し，評価する。</li> </ul> <p>(2)</p>		○	◎	<p>エ② 古典を読んで人間，社会，自然などについて考え，自分の意見を持つようとしている</p> <p>オ② 古典の一節を引用するなどして，古典に関する簡単な文章を書くこと。</p>	観察 ワーク シート  二百字 原稿	

※太枠部分が課題となる力を特に育成する時間

## 【 8 】 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ① 和歌について関心を持ち、進んで読む中で自分の考えを持とうとしている。  
【国語への関心・意欲・態度】
- ② 和歌に使われている言葉や表現の効果をとらえ、情景や心情を考えることができる。  
【C 読むこと(1)エ】

### (2) 本時の学習展開

	学 習 活 動 教師の働きかけ ○発問           ◇補助発問 ◎予想される生徒の反応	指導上の 留意点 ●努力を要する生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
導入 【見通しを持つ】	1 単元の見直しを確認する。 2 前時の復習をする。 (万葉・古今・新古今の特徴と、古の人々は和歌で様々な心情を詠み、思いを表現したことを確認する。) 3 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールが見えるように、黒板に提示する。</li> <li>学習課題を明確にし、学習への見通しを持たせる。</li> </ul>	
	<b>【単元を貫く言語活動】</b> <b>心に響いた和歌のショートストーリーを作り、紹介しよう。</b>		
	<b>【めあて】</b> <b>言葉や表現に着目し、情景や心情をとらえよう。</b>		
展開 ① 【自分の考えを持つ】	4 和歌に詠まれている情景や心情を想像する。 ○ 次の和歌の最後の一句にはどのようなことばが入ると思いますか。 現代語で考えなさい。 <b>「古今和歌集」 詠み人知らず</b> <b>春たてば 消ゆる氷の 残りなく</b> <b>君が心は( )</b> <b>正解：我にとけなむ</b> ・時間をとり、それぞれノートに書く。  ◎ 消えてしまったのか 消えてなくなるのではないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことばについてはある程度の意味を解説する。  <b>例) 春たてば</b>                      ↓  <b>春になると</b></li> <li>助言はせず、自分で考えさせ、ノートに書く。</li> <li>● 思いつかない生徒には「消える氷」と「君の心」がどう関係があるのか考えさせる。</li> <li>生徒に根拠もあわせて発表させる。</li> <li>正解にこだわらず、どこに根拠を置いているかに注目させる。</li> </ul>	

<p>展開 ② 【考えを交流する】</p>	<p>5 班で考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会を決め、話し合わせる。話し合っ た結論をノートに書く。</li> </ul> <p>(どの班も話し合えていない場合) ◇「氷」からどのようなことをイメ ージしますか。 ◎ つらら 冷たい 固い 雪</p> <p>◇「氷」と「春」からどのようなこと をイメージしますか。 ◎ 雪解け とける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず全員が考えを言うようにす る。</li> <li>・司会は意図的に指名する。</li> <li>・「氷」からのマイナスイメージ 「春」からのプラスイメージ、 二つの相反するイメージを出さ せて交流させる。</li> <li>●思いつかない生徒や(班)には 「とけてしまう氷」と「君の心」 がどう結びつくのかと問い、考 えを焦点化する。</li> </ul>	
<p>展開 ③ 【さらに考えを深める】</p>	<p>6 考えた情景と詠み人の心情を合わせ て、この和歌のストーリーを百字で考 える。</p> <p>○ 歌を読み解くためには、どのような視 点を持つとよいでしょうか。</p> <p>○ 歌から読み取れる情景や心情をノート にまとめましょう。</p> <p>◎情景 好きな人に当てた歌 季節は冬の終わり</p> <p>◎人間関係 春になって出会ったばかりの二人 うまくいっていない二人</p> <p>◎心情 仲直りをしたい。友達になりたい 仲をふかめたい</p> <p>○ どのような情景や心情を考えたか、全体 で交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの手メモをもとに、考えたことを 発表する。</li> </ul> <p>7 配布した百字原稿に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌のどこに着目してそのようなストー リーを考えたのかも書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を読み解く視点を考えさせる。</li> <li>・視点</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>①どんな情景が描かれているか。 ②どんな人間関係が描かれてい るか。 ③どんな心情が読まれているか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに簡単にメモをとらせる。</li> <li>・根拠も必ず書かせる。</li> <li>・(平安)時代を意識させる。</li> <li>●全く書けない生徒には、これま で発表に出た言葉の中から情景 や心情を選ばせ、書き出しを示 す。</li> </ul>	<p>和歌を讀ん で、表現に表 れているもの の見方や考 え方を整理し、自分の 考えをまと めている。 (ノート、シ ート)</p>
<p>【まとめる】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>生徒のまとめ(例)</b></p> <p>寒い冬も終わろうとしている。ようやく顔を見ることができたが、時々寂し そうな表情を見せる君。暖かい春の陽がすっかり氷を溶かすように、君の固く 閉ざした心を僕も溶かしてあげたいと思っている。(92字)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流する。</li> </ul> <p>8 本時の振り返りと次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導から、意図的指名をす る。</li> </ul>	

## 【9】 評価問題

(平成 24 年度 全国学力・学習状況調査【B問題】)

- 1 三 ※この対談を読んで、あなたは、これからどのような事場の使い方をしたいと考えますか。  
次の条件 1 から条件 3 にしたがって、あなたの考えを具体的に書きなさい。  
(※この対談=大岡玲さん×檀ふみさん「美しい日本語とは」による)

- 条件 1 対談での大岡さん、檀さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書くこと。  
条件 2 これから使っていきたい言葉の例を挙げて書くこと。  
条件 3 八十字以上、百二十字以内で書くこと。

## 【10】 家庭学習

(本時までにしておく学習)

I 万葉・古今・新古今の中から好きな和歌を選び、ショートストーリーを書くためには、奈良・平安・鎌倉時代の人々の暮らしの状況を知っておく必要があるため、次にあげる①～③について調べる。

- ① 人々の生活。(日常や仕事)  
② どのような身分の違いがあったのか。  
③ 男女はどのように交流をしていたのか。

歴史的な背景をつかむことで、和歌へ詠まれた情景や人々の心情がより深く理解することができる  
と考える。

(3次までにしておく学習)

II 教科書にある和歌から好きなものを選び、その歌人について調べる。

※歌人について知識を持つことで、作品への理解が深まると考える。

## 【11】 評価問題による検証

(平成 24 年度 全国学力・学習状況調査【B問題】)

- 1 三 ※この対談を読んで、あなたは、これからどのような事場の使い方をしたいと考えますか。  
次の条件 1 から条件 3 にしたがって、あなたの考えを具体的に書きなさい。  
(※この対談=大岡玲さん×檀ふみさん「美しい日本語とは」による)